

C.G.F.原料の安全性試験を実施 2007年11月

食の安全が叫ばれて久しい昨今、国内では食にまつわる偽装や事件が毎日のように報道され、消費者の関心はますます高まっています。日本に限らず、米国はじめ諸外国においても食に関する安全性への意識は高く、特に輸入品に対する各国の規制は年々厳しさを増しています。日本においてクロレラやその抽出物であるC.G.F.は、これまでの長い食経験を持ち、安全性が十分に認識されています。しかし社会情勢の変化に伴い科学的な安全性の検証が求められ、諸外国への対応の一環として、この度改めて科学的な裏付けを行いました。その結果、クロレラから抽出されたC.G.F.の安全性が、科学的にも証明されました。

<試験した原材料>

C.G.F.(クロレラ グロス ファクター:クロレラ抽出物)

<試験項目>

試験項目は、医薬品開発の評価で用いられる厳しい基準です。

	試験項目	概要
遺伝毒性試験	①Ames試験 (エームス試験)	遺伝に対する悪影響を評価します
	②染色体異常試験	
	③小核試験	
一般毒性試験	④単回投与毒性試験	動物へ一度に多量を摂取させた場合の評価
	⑤13週反復投与毒性試験	動物へ長期間摂取させた場合の評価

<試験結果>

上表の各試験において、CGFの安全性が認められました。

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。